

丹波縄文の森塾 第4日目活動報告 (令和5年7月28日)



天気 晴れのち一時雨

今日は、4週間前に作った土器を野焼きしました。指導は、土器の形づくりに続き、陶芸家の宮本先生と(公財)滋賀県文化財保護協会の鈴木先生にお願いしました。

10時30分、柴や木炭に火を付け、じっくりと焼き始めました。



日中の気温は35℃を超え、その上、土器を焼く炎で熱く、作業は大変でした。

午後1時に火床の上に網に乗せ、その上に土器を並べて、さらに高い温度で焼き続けました。

午後3時 火床に薪や枯草を追加して、炎を大きくしました。その後、火を落とし、土器の熱を冷めました。土器上げは明日です。



昼食は、杉本サポーターの手作りの流しそうめん台にそうめんを流して、楽しく、お腹いっぱいいただきました。

午後からは、「ツリーイング」と「草木染」に挑戦しました。



専用のロープを使って木に登る「ツリーイング」。インストラクターの福島さんらの指導で、ハーネスで体をしっかり固定し、バランスを取りながら少しずつ、自力で木を登りました。

次に草木染作家の竹内先生の指導で、絹のバンダナを杉の葉で染める「草木染」を体験しました。「きれいに染まった」、「イメージどおり出来た」と満足な様子でした。

